

5月18日 15:50-17:50

シンポジウム 1

「タンパク質の機能を見る新技術」

オーガナイザー 小松徹 東京大学大学院薬学系研究科 助教

「機能性タンパク質と小分子の複合的利用による抗原可視化の新手法」

小嶋良輔 東京大学大学院医学系研究科 准教授

「小型抗体フォーマット「Fv-clasp」の開発とその応用」

有森貴夫 大阪大学蛋白質研究所 准教授

「変性部位検出プローブの開発とプロテオミクス解析」

佐藤伸一 東北大学学際科学フロンティア研究所 助教

「オプトケモプロテオミクスによるマウス脳内受容体インタラクトーム解析」

田村朋則 京都大学大学院工学研究科 講師

「網羅的情報の潜在表現に基づく生命現象の記述」

水野忠快 東京大学大学院薬学系研究科 助教

「「1分子計測リキッドバイオプシー」技術に基づく早期がん診断の事業化」

坂本眞伍 コウソミル株式会社 取締役/CTO

5月19日 9:30-11:30

シンポジウム 2

「糖鎖の「基礎・創薬・規制科学」」

オーガナイザー 亀山昭彦 国立研究開発法人産業技術総合研究所 上級主任研究員

「LC/CE 二次元分離に基づく超高感度・絶対定量グライコーム解析法の開発」

川井隆之 九州大学大学院 准教授

「腸管恒常性維持における糖鎖の役割」

奥村龍 大阪大学大学院 助教

「悪性中皮腫の糖鎖修飾を認識する SKM9-2 抗体と抗体医薬への展開」

辻祥太郎 群馬医療福祉大学 教授

「Multi-attribute methodによる抗体医薬品の品質評価（仮）」

橋井則貴 国立医薬品食品衛生研究所 室長

5月19日 15:50-16:50

シンポジウム3

「がんとプロテオゲノミクス」

オーガナイザー 野口玲 国立がん研究センター 希少がん研究分野 研究員

「TCR-抗原特異性の予測に向けた技術的進展と取り組み」

長谷川嵩矩 東京医科歯科大学 M&D データ科学センター 准教授

「がんとプロテオゲノミクス：サンプル特異的データベース作成ソフト OncoProGx のその後（仮）」

野口玲 国立がん研究センター希少がん研究分野 研究員

5月20日 9:30-11:30

シンポジウム4

「質量分析計による細菌同定の現状」

オーガナイザー 曾川一幸 麻布大学 准教授

「MALDI-TOF MSによる細菌同定の現状と将来性（仮）」

藤永あずみ ブルカージャパン株式会社

「MALDI-TOF MSによる細菌同定の精度管理調査の体制について」

曾川一幸 麻布大学

「琉球大学病院における現状と将来性（仮）」

上地幸平 琉球大学病院

「那覇市立病院における現状と将来性（仮）」

大城健哉 那覇市立病院

5月20日 14:20-16:20

シンポジウム5

「臨床検査の医療への貢献」

オーガナイザー 井本真由美 近畿大学病院中央臨床検査部 技術科長代理
渡辺勝紀 栄研化学（株）生物化学研究所 所長

「臨床検査の多様な貢献」

山田俊幸 自治医科大学臨床検査医学 教授

「膵疾患にミスリードしないためのアミラーゼアイソザイムの迅速な活用法」

松村充子 天理よろづ相談所 医学研究所 研究所技師

「反応過程異常精査や診断に役立つ蛋白電気泳動 –患者の早期診断につながった事例–」

青木絵美 慶應義塾大学病院 臨床検査科 副主任

「異常反応監視システムと検査結果自動解析システムを組み合わせた診断支援の取り組み」

石嶺南生 信州大学医学部附属病院 臨床検査部 副臨床検査技師長

「次世代シーケンサーを用いた臨床検査の展望」

白石直樹 近畿大学病院ゲノム医療センター

「医療へ貢献するための当院検査部での ISO15189 関連の取り組み(仮)」

石原香織 長崎大学病院 検査部 主任

「新型コロナウイルス検査キットの開発 ～ パンデミックから発売までの開発ヒストリー ～」

保坂憲光 栄研化学（株）生物化学研究所第四部 部長

「検査室における電気泳動検査の有用性と大学教育」

清宮正徳 国際医療福祉大学 教授